



# 病棟紹介① 手術室



手術室師長：村田 久子

手術室では、外科・心臓血管外科・脳神経外科・整形外科・泌尿器科・眼科・皮膚科・形成外科・ラジオ波焼灼術(消化器内科)等、医師、看護師、臨床工学技士、看護助手と協働しながら、年間約3,000件の手術を実施しています。

手術室の基本方針は、「**スタッフ全員で、安全・安楽な手術を提供できる。**」です。そのために、全員で専門職としての知識・技術の研鑽に日々努力しています。

また、当院は急性期病院としての使命もあります。24時間いつでも手術を受けられるよう、体制も整えています。

▶▶▶ 手術室の中はどの様になっているのでしょうか？



## 1 安全・安楽のために

- 麻酔科医師が手術前に麻酔の説明に伺います。
- 手術室看護師は、病棟、外来の看護師と事前に患者さまの状況を調整しています。
- 手術室看護師は、患者さまの状況に応じて事前に病棟に説明に伺います。
- 手術に必要な器械・物品、部屋の整備、医療機器の点検を行います。
- 手術中にベッドから転落しないよう、体の固定にご協力いただいています。
- 手術患者の取り違いや手術部位の誤認防止のために、患者さま自身に名前と手術部位を言っていただき、リストバンドのバーコードで血液型確認を行います。

## 2 安心のために

- 患者さまが手術室に入室される時は、笑顔でお迎えします。
- 歩行が可能な患者さまは、看護師や看護補助者と一緒に、歩いて入室しています。
- 手術中は、患者さまがリラックスして手術を受けられるように、音楽を流しています。ご希望の音楽がありましたら、CDを持参いただくことも可能です。
- 患者さまに寄り添い、不安や心配な気持ちを和らげるよう努めます。



臨床工学技士です。



麻酔科医師です。